

## 次世代への継承を担う



会場全体でこれからの継承活動について考えました

被爆者が減っていく中、被爆や戦争体験の継承について考える座談会を開催。12月20日、原爆資料館で、長崎、広島、沖縄で語り部活動をする4人が継承活動の課題や悩みを語りました。

参加者が、自らの活動について「身近な問題として聞いてもらう工夫が必要」と話し、来場者もいっしょに考える場面も。

市では、被爆者に寄り添ってきた家族などが被爆の体験を語り継ぐため、今後も支援を行っていきます。

■問い合わせ 被爆継承課(☎844-3913)

## ラグビーワールドカップ キャンプ地に決定!



キャンプを通してスコットランドとの交流の活性化を図ります

2019年ラグビーワールドカップ日本大会で、長崎とゆかりのあるスコットランドの代表チームが市内でキャンプを行うことが決定。12月21日に、スコットランドラグビー協会から正式に通知を受けました。

今後は、県ラグビー協会、経済団体などと協力して、大会前の「事前キャンプ」成功のための準備や、少年チームの交流事業などを計画。あわせて、大会期間中の「公認キャンプ」への選定も目指します。

■問い合わせ スポーツ振興課(☎824-3728)

## 居留地時代の 面影に触れながら



南山手地区・東山手地区を巡りました

長崎の歴史について、誰もが気軽に学ぶことができる初心者向け講座「ながさき歴史の学校」。12月19日に、フィールドワークを開催しました。

「文化財はじめの一步」コースの受講生17人は、かつて長崎が歴史の表舞台となった時代を物語る場所を巡りながら、往時に思いをはせていました。

■問い合わせ 文化財課(☎829-1193)

## 50代から考える 人生の愉しみ方



還暦前後の年齢を「アラウンド還暦」、略して「アラ還」です

「退職なんてまだ先のこと」と仕事などで忙しい毎日を送る50代。その世代が生きがいのある60代以降の人生を送れるようにと、さまざまな「第二の人生」を紹介する「よかもん! アラ還大会」を1月11日に開催。

洋菓子職人としてのキャリアを活かして、自宅で開業したパン屋が大繁盛している事例など、人生を元気に楽しんでいる計9人の活動を聞いた参加者は、自分なりの「アラ還」に思いをめぐらせていました。

■問い合わせ 高齢者すこやか支援課(☎829-1146)